

関西医大で  
スーパードクター  
を目指そう

# 卒研センター NEWS

## 関西医大で躍動する、 女性医師。

女性医師“ならでは”のキャリアパスを支える、  
関西医大の支援体制をご紹介します。

### ■附設保育所 子育てドクターのために、保育所を整備

#### 「附属病院附設保育所」

・保育年齢	生後57日~2歳児
・定員	30名
・定時保育時間	平日 7:30~18:00 奇数週土曜 7:30~13:30※
・保育料	月額25,000円(税別)
・延長保育	あり
・夜間保育	あり
・病児保育	あり
・入所者	月極16名 臨時1名(2018/11/1現在) 週4日 1名
・備考	スポット保育も可

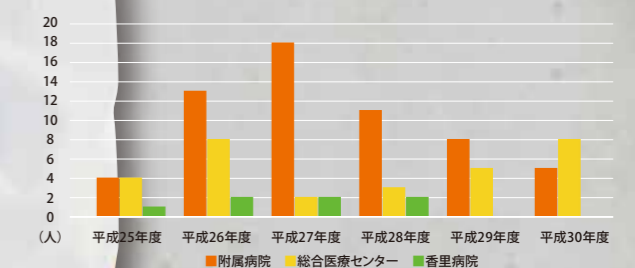
※病棟勤務者などは18:00まで

#### 「総合医療センター附設保育所」

・保育年齢	生後57日~未就学児
・定員	30名
・定時保育時間	平日 7:30~18:00 土曜 7:30~18:00
・保育料	月額25,000円(税別)
・延長保育	あり
・夜間保育	あり
・病児保育	なし
・入所者	月極10名 臨時10名(2018/11/1現在) ※月15日以下は臨時
・備考	スポット保育も可

### ■短時間勤務正職員制度 利用者数

女性医師が育児と仕事を両立できる仕組みづくりを目指して、柔軟な勤務形態を提供できるように導入しました。週2日以上6日未満、勤務時間も実働4時間以上7時間15分以内の範囲で選択し、正職員として勤務していただくことが可能です。



### ■先輩女性医師の声

ここ最近、救急を志す医師は増えていますが、出産を機に辞めてしまう事が多く学会でも労働環境の改善が話題になっています。救急医の人数が少ないとハードワークを強いられる事があるからです。救急医学講座も決してマンパワーが足りているとは言えません。そんな中、妊娠が判明すると体力を使う救急車対応ではなく、集中治療管理をメインにシフトの調整をして下さいました。

日直には月2回入りでしたが、当直は7週目から免

出産後の育児と仕事の両立は、それまでの生活とは一変してしまいます。私は医師になって13年目に初産を経験しました。産婦人科だけに上司や同僚は理解があり、産前から手術や当直を減らしてもらっていました。産後は6ヶ月で復職しました。もう少し育児を取ることも考えましたが、院内保育所は1歳まで授乳が可能で、病児保育も利用できるの、人見知りの始まる前に保育所に預けました。復職後は当直の免除と就労時間の制限(9~17時)をさせて頂い

### ■1年目男性研修医の声

私は会社員の妻と2歳の息子の3人暮らし。実家は共に遠方で頻繁には頼れず、平日は息子を保育園に預けて夫婦で家事と育児を分担しています。学生の時は時間的に融通しやすかったので、息子の送り迎えや寝かしつけなどを私が、夕食準備は妻、と分担していました。しかし研修医になると、ライフスタイルが一変し、息子と関わる時間が短くなりました。私自身は大変でも満ち足りた気持ちで研修していますが、寂しい思いをさせている息子と家事育児

除してもらいました。こうした周りのサポートにより産前休暇まで勤務することができました。当院の救命救急センターは初療、ICU、病院前診療といくつかのパートがあるため、ライフステージにあった勤務ができ診療のステップアップが図れると今回改めて感じました。出産後、どのような形で復職するかは未知ですが、その時の状況に合わせ救急医療に関わっていただきたいと思います。

しております。医局には私以外にも育児中の女性医師が数人いて、みな自分のできる範囲で仕事をさせてもらっており、周囲のサポートには本当に感謝しております。関西医大は女性医師が働きやすい環境を考えてくれています。女性男性関係なく利用できる子育て支援体制があればもっといいと思いますが、それはまだ先の話になりそうです。今の環境に感謝し、患者さんに寄り添える医師として努力していきたいと思っています。

を押し付けてしまっている妻には、申し訳ないという気持ちがあります。

今は研修中心の生活の中で、出来る範囲の家事や育児をしています。皆が無理なく生活する為に、自身の働き方、将来についてより意識するようになりました。息子を授かってから2年。沢山の喜びと苦労を経験しました。今後も幾多の壁にぶつかるとは思いますが、一つ一つ乗り越えて良き医師、良き父、良き夫として成長していきたいと強く感じる毎日です。



救急医学科  
宮崎 麻里助教



産婦人科  
中尾 朋子助教



研修医  
山本 真太郎

### 女性医師が長く活躍できる病院は、患者さんにも良い病院だと信じて。

関西医科大学では、平成21年に卒後臨床研修センター内に女性医師支援部門を開設しました。

女性医師が結婚・出産・育児と仕事を両立し、その能力を生かして長年にわたって働き続けるためには、「仕事」と「家庭や子育て」とのバランスを保持できるか、職場に有効な制度が整っているか、がとても重要であると考えます。本学では、女性医師が働きやすい職場環境を整備することを目的として、

短時間労働正職員制度や病児保育受入れなどが構築されました。また、離・退職した女性医師が臨床現場に復帰しやすいように、シミュレーションセンターでの実技研修や診療科ごとの復帰研修プログラムの提供などいろいろな取り組みを行っています。今後、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の視点に立って、真の豊かな心をもつことがさらに心の通った医療につながっていくと考えております。



女性医師支援部門部門長  
植村 芳子診療教授

## 読者の声

ここでは読者の声をご紹介します!

### あなたの「声」を掲載しませんか?

卒研ニュースでは読者のご意見・ご感想を募集しています。気になることや面白いこと、施設を利用したご感想やご要望などさまざまな読者の「声」をお待ちしています。

応募先 sotugori@hirakata.kmu.ac.jp



今月の表紙: 臨床病理学講座 大江知里講師  
2005年 関西医科大学卒業  
2015年 高度医療人育成制度による米国留学  
2018年 現職



## ■女性医師復帰支援プログラム 女性医師数の多い診療科順に、復帰支援の取り組みをご紹介します

循環器内科（第二内科）		指導下	独立
非侵襲的検査	エコー・トレッドミル・RI	1～12ヶ月	1年以降
侵襲的検査	カテーテル検査	1～12ヶ月	1年以降
薬物治療		1～12ヶ月	1年以降
外来	・検査		1ヶ月～
	・一般外来	1～12ヶ月	1年以降
病棟	・入院患者受け持ち	1～12ヶ月	1年以降
	・救急対応（日勤）	1～12ヶ月	1年以降

麻酔科		指導下	独立
手術麻酔	麻酔管理	1ヶ月	2ヶ月以降
	麻酔指導		6ヶ月以降
集中治療	集中治療	6ヶ月以降	
ペイン・緩和	ペイン外来	6ヶ月以降	
	緩和チーム	6ヶ月以降	
外来	・科別専門	6～12ヶ月	1年以降

皮膚科		指導下	独立
皮膚科処置	生検		1ヶ月～
	軟膏・創傷処置		1ヶ月～
	理学療法		1ヶ月～
外来手術	小手術	1ヶ月	2ヶ月以降
	中手術	2～12ヶ月	1年以降
外来	・検査		1ヶ月～
	・一般外来	1ヶ月	2ヶ月以降
	・科別専門	1ヶ月	2ヶ月以降
病棟	・救急対応（日勤）		7ヶ月～

眼科		指導下	独立
検査	各種検査外来		1ヶ月～
手術	外来手術	1～6ヶ月	
	白内障手術	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	その他の手術	6ヶ月以降	
外来	・検査		1ヶ月～
	・一般外来		1ヶ月～
	・科別専門		1ヶ月～
病棟	・入院患者受け持ち		2ヶ月～
	・救急対応（日勤）		6ヶ月～

小児科		指導下	独立
超音波検査	腹部エコー検査	2～12ヶ月	1年以降
	心臓エコー検査	2～12ヶ月	1年以降
地域保健活動	健診事業		1ヶ月～
	予防接種事業		1ヶ月～
病棟業務	入院患者受け持ち	2～12ヶ月	1年以降
(NICU)	点滴・採血手技	2～12ヶ月	1年以降
	頭部エコー	2～12ヶ月	1年以降
	レスピレーター管理	2～12ヶ月	1年以降
外来	・検査	1ヶ月	2ヶ月以降
	・一般外来	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	・科別専門	2～6ヶ月	7ヶ月以降
病棟	・入院患者受け持ち	1ヶ月	2ヶ月以降
	・救急対応（日勤）	1ヶ月	2ヶ月以降

産婦人科		指導下	独立
外来	体外受精治療（採卵etc）	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	コルポスコピィ検査	1ヶ月	2ヶ月以降
	胎児超音波検査	1～6ヶ月	7ヶ月以降
病棟	正常分娩	1ヶ月	2ヶ月以降
(産科)	吸引分娩	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	D&C（流産手術）	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	羊水穿刺	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	帝王切開術	1～12ヶ月	1年以降
病棟	がん化学療法	1ヶ月	2ヶ月以降
(婦人科)	○腹式手術 良性腫瘍	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	悪性腫瘍	1ヶ月～	
	○腔式手術 円錐切除	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	子宮全摘	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	○腹腔鏡下手術	1～12ヶ月	1年以降
外来	・検査		1ヶ月～
	・一般外来	1ヶ月	2ヶ月以降
	・科別専門	1ヶ月	2ヶ月以降
病棟	・入院患者受け持ち	1ヶ月	2ヶ月以降
	・救急対応（日勤）	1ヶ月	2ヶ月以降

消化器肝臓内科（第三内科）		指導下	独立
内視鏡検査	上部消化管内視鏡	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	下部 //	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	ERCP	6ヶ月以降	
	超音波内視鏡	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	小腸内視鏡	2～12ヶ月	1年以降
内視鏡治療	食道静脈瘤結紮・硬化療法	2ヶ月以降	
	止血処置	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	粘膜切除（EMR・ESD）	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	大腸ポリペクトミー	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	胆道ドレナージ (ENBD・ERBD・PTCD)	6ヶ月以降	
肝臓関連	超音波（造影・ドップラー）	1ヶ月	2ヶ月以降
	肝生検	1～6ヶ月	7ヶ月以降
	局所治療（PEIT・PRFA）	1～6ヶ月	7ヶ月以降
その他	カプセル内視鏡	1～6ヶ月	7ヶ月以降
外来	・一般外来		1ヶ月～
	・科別専門	1ヶ月	2ヶ月以降
病棟	・入院患者受け持ち		1ヶ月～
	・救急対応（日勤）		1ヶ月～

耳鼻咽喉科		指導下	独立
検査	超音波	1ヶ月	2ヶ月以降
	細胞診	1ヶ月	2ヶ月以降
手術	短時間の小手術	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	鼻副鼻腔手術	7～12ヶ月	1年以降
	中耳炎手術	7ヶ月以降	
	頭頸部手術	1年以降	
主治医	難聴・めまい患者	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	小手術患者	2～12ヶ月	1年以降
	他手術	7ヶ月以降	
外来	・検査	1ヶ月	2ヶ月以降
	・一般外来	1ヶ月	2ヶ月以降
	・科別専門	1～6ヶ月	7ヶ月以降
病棟	・入院患者受け持ち	2～6ヶ月	7ヶ月以降
	・救急対応（日勤）	7～12ヶ月	1年以降